

病院で出会う子どもの健康と成長を支えるトータルケア -小児看護専門看護師の活動を通して-

高橋 久子[†]

第70回国立病院総合医学会
(平成28年11月12日 於 沖縄)

IRYO Vol. 71 No. 8 / 9 (356-359) 2017

要旨

富山病院は、隣接する県立特別支援学校と医療教育連携体制で小児慢性病棟を運営している。時代とともに長期入院を要する子どもの疾病構造は変化してきており、不登校や家庭内暴力、身体症状等で家庭や学校の対応に困難が生じた適応障害の事例が増加している。入院後、成育歴や行動観察、診察、検査などから自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、学習障害、軽度知的障害、神経症等の確定診断がなされる。一方、家族からの明らかな虐待により児童相談所が介入した子どもも受け入れている。

発達障害と虐待は因果関係や関連が証明されていないが、虐待という行為を広く不適切な養育（マルトリートメント）と捉えると入院している子どもに共通した支援、すなわち適切な養育の場が重要となる。入院生活は、一旦家族から離れ距離をおくことで子どもの安全な生活を保障する。そして生活リズムを整えると通学し教育を受けることが可能になる。

小児看護専門看護師として、外来受診時より医師とともに子どもと家族に関わり、入院後は病棟スタッフと子どもの理解や対応をともに考え、子どもの力がより育まれるよう多職種と協働しながら支援している。一人一人の成長を支えながら子どもなりの社会適応を目指し、必要に応じ子育て支援課や児童相談所等関係機関との支援会議を持っている。

このように、病院で出会う子どもの健康と成長を支えるために小児看護専門看護師としての役割を開発し、日々模索しながらも活動を継続することが重要と考えている。本稿では、病院で出会う子どもの健康と成長を支えるトータルケアとして、富山病院における現在の活動を報告したい。

キーワード 虐待予防, トータルケア, 小児看護専門看護師

国立病院機構富山病院 看護部 †看護師

著者連絡先：高橋久子 国立病院機構富山病院 第1病棟 〒939-2692 富山市婦中町新町3145番地

e-mail: cns01@toyamalan.hosp.go.jp

(平成29年2月27日受付, 平成29年7月24日受理)

Total Care to Support Health and Growth of the Children in the Hospital:

Through the Activities of Certified Nurse Specialist in Child Health Nursing

Hisako Takahashi, NHO Toyama Hospital

(Received Feb. 27, 2017, Accepted Jul. 24, 2017)

Key Words: child abuse prevention, total care, certified nurse specialist in child health nursing